



たんぽぽ 第15号

1989. 10. 1 発行
兵庫県養父郡養父町堀畑字入反田82番地の28
森 医 院
〒667-01 電話(0796)65-0223

「いま国保」がおかしい



医師でないものが医療行為を行えば、医師法違反で罰せられる。これは無資格者が診断、治療することを法律で禁じているのであるが、最近奇妙なことが各地でおこっている。医師の行った治療内容の適否が無資格者によって審査されているのである。ある町の国保課では、プーイバシーである患者さんの病名もや服用している薬をマルバウトの職員に調べさせている。

「医者にかかるのと町から医療費の通知がくるので、血圧の薬が切れても遠慮してしまおう」という声を患者さんからよく耳にする。兵庫県だけでなく全国からもっとひどい例が報告されている。生活が苦しくて国保料を滞納したため保険証を取り上げられ病気が予選水になつてしまった患者さんの話。生活保護を受けようになつたら、それまでの保険料滞納分を「生活保護費から払え」と担当職員が言った例。国民の健康を守るためにあるはずの国民健康保険が、弱者を切り捨てにかかつてきた。

国保に加入してはいるのは自営業者や農業従事者などで、どちらかというところ不安定な経済基

盤の上にある。さらに今までの社会保険に加入して来た人たちが入年で退職すると「国保」に加入するのである。だから平均年齢が高くなる。さらに無職の人も収入の道を閉ざされた人たちも「国保」加入者の中で占める比率がだんだん増加してきている。こういう構造上の問題抜きに「国保」の安定化はありえない。今、行政側がすべきこととは「医療費通知」や「保険証の取り上げ」などでなく、どうしたら「国保」を守れるかという基本に立ち返ることである。

各町に置かれてはいる国保運営協議会をもっと民主的に機能させることも大切である。公務員であつても定年がきたら「国保の世話」にするのである。憲法第25条では、健康が基本的人権だと謳われている。地方自治法第82条3項ノ号でも「安全と健康と福祉を保持すること」が強調されている。国民皆保険のおかげで世界一の長寿国を誇れるようになった。長寿は文化のバロメータ。世界に誇れる日本のためにも「国保」は守り発展させなければならぬ。

院長

健康情報テレホンサービス

10月のテーマ

- ㊦ 子供の「夜泣き」
- ㊧ 歯石のこわさ
- ㊨ 乗り物酔い
- ㊩ 「肉離れ」のはなし
- ㊪ あなたは大丈夫—燃えつき症候群
- ㊫ 「いじめ」にあつたら

11月のテーマ

- ㊬ 子供の「吐き気」
- ㊭ 変色した歯
- ㊮ くも膜下出血について
- ㊯ 予防したい「床ずれ(褥瘡)」
- ㊰ 女性の「冷え性」
- ㊱ 近視と仮性近視

朝9時半から翌日9時半まで24時間いつでも3分程度の開業医のチカラの健康・医療情報をテープで流しています。
八鹿(0796)62-8181
豊岡(0796)24-1800

ふれあい
ぼくす

あせ道 道の標へや赤し
まんぢんまげ
曼珠沙華

匿名

お知らせ

12月1日より
国民健康保険証が
更新されます。
12月より受診時に
は新しい保険証を
受付に出して下さい。

背の青い魚を食べましょう

魚にはタンパク質・脂肪・ビタミン・ミネラル・カルシウムなどの栄養素がバランスよく含まれています。特に背の青い、アジ・イワシ・サバ・サンマ・カツオなどの脂肪には不飽和脂肪酸が含まれていて、コレステロールを減らす作用や肥満を防ぎ肌を美しくする効果もあります。丸ごと食べるめがし、しらす干しにはカルシウムが多く含まれていて骨や歯を支えます。

秋から冬にかけて魚のおいしい時期です。たくさん食べましょう!



